

第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

2-⑥

施策

新分野への進出や起業しやすい環境を整える

担当部局

文化産業局, 企画財政局

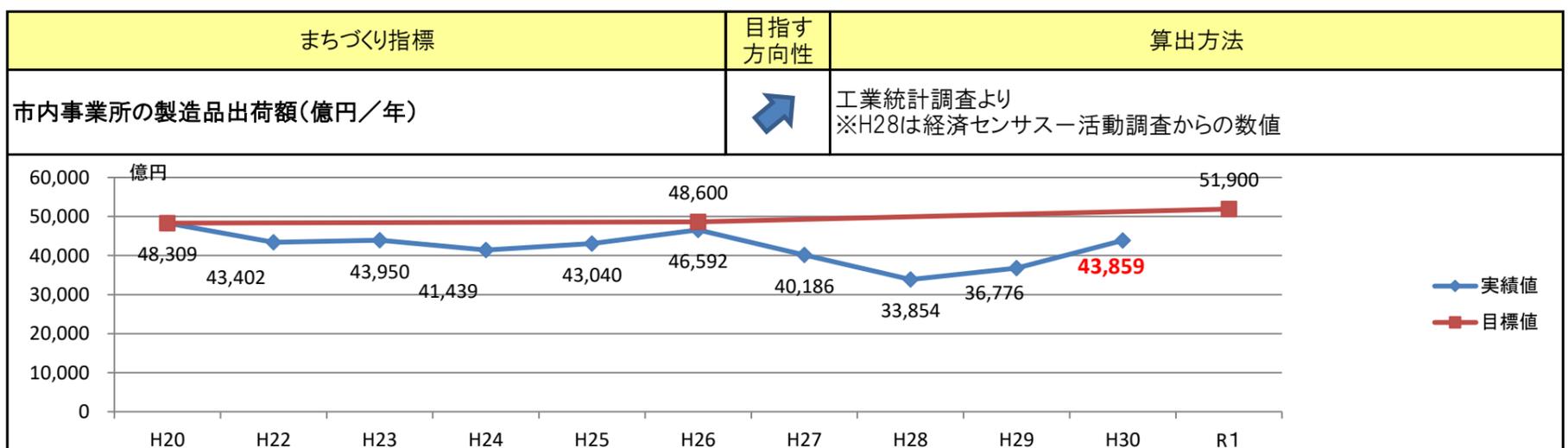
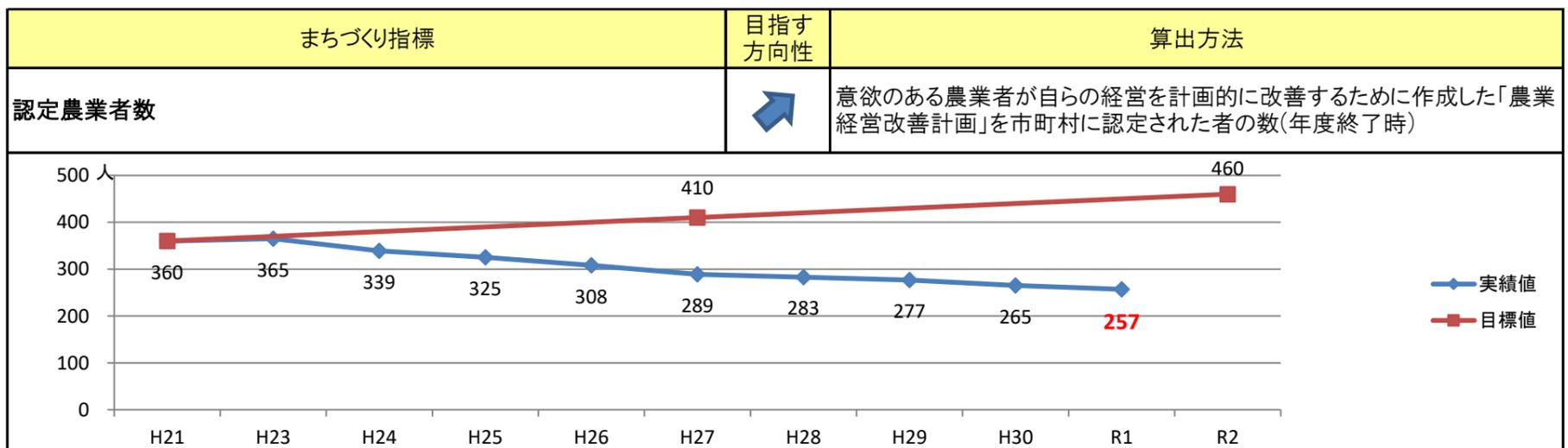
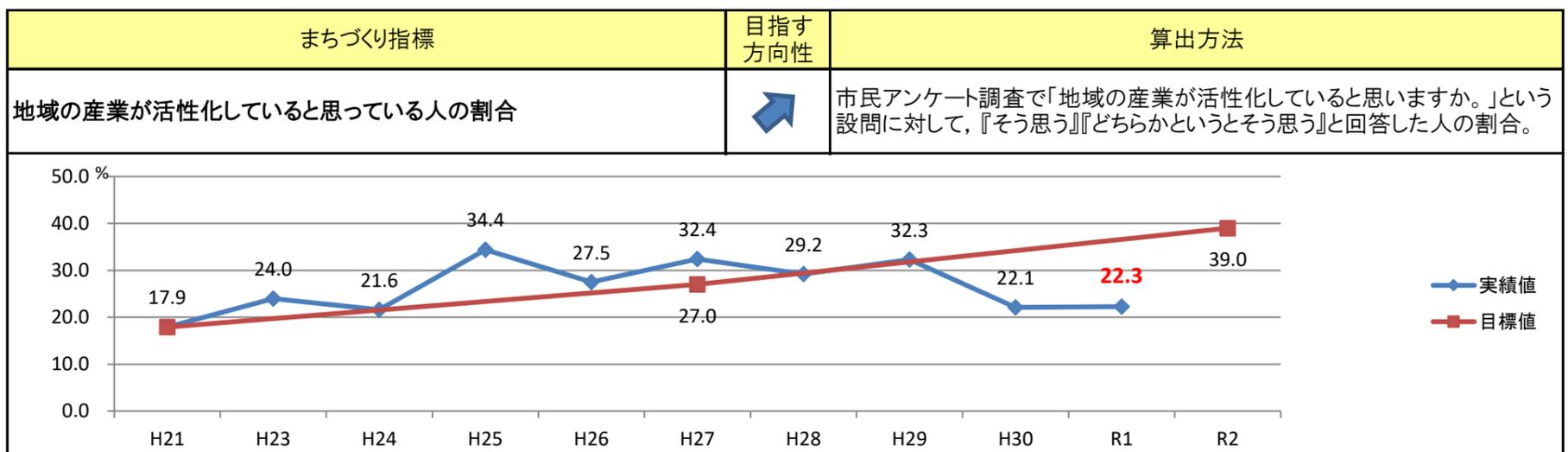


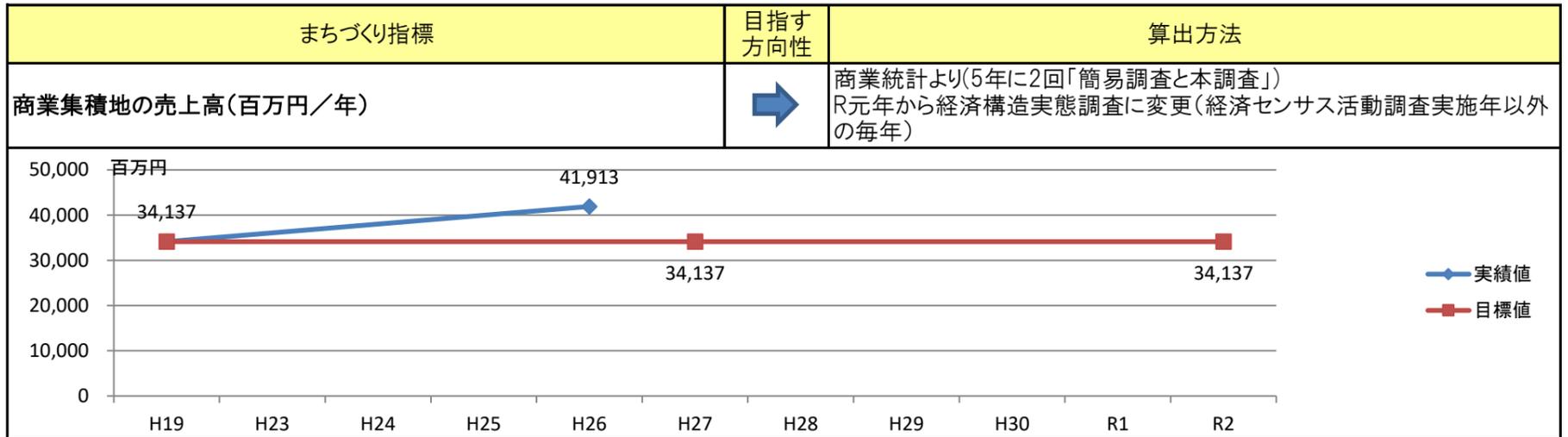
【躍動】 めざまちの姿 地域の産業が時代の流れに対応し、活性化している

市の基本方針

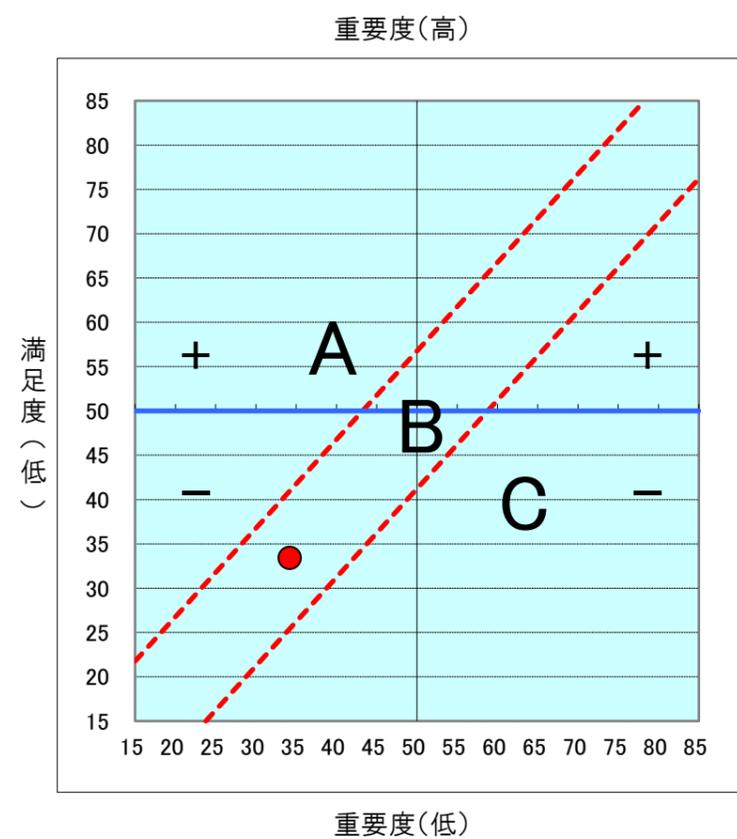
- 社会情勢の変化に伴う人々の行動・思考の変化は、新たな産業やビジネスチャンスを生み出します。そのため、こうした機会を活用して、起業や新たな事業展開をめざす意欲ある個人や企業を支援します。
- 新たなサービスの提供やものづくりなどによる事業展開に不可欠な技術の高度化や、新製品・新技術の研究開発に対する支援を充実します。

数値目標





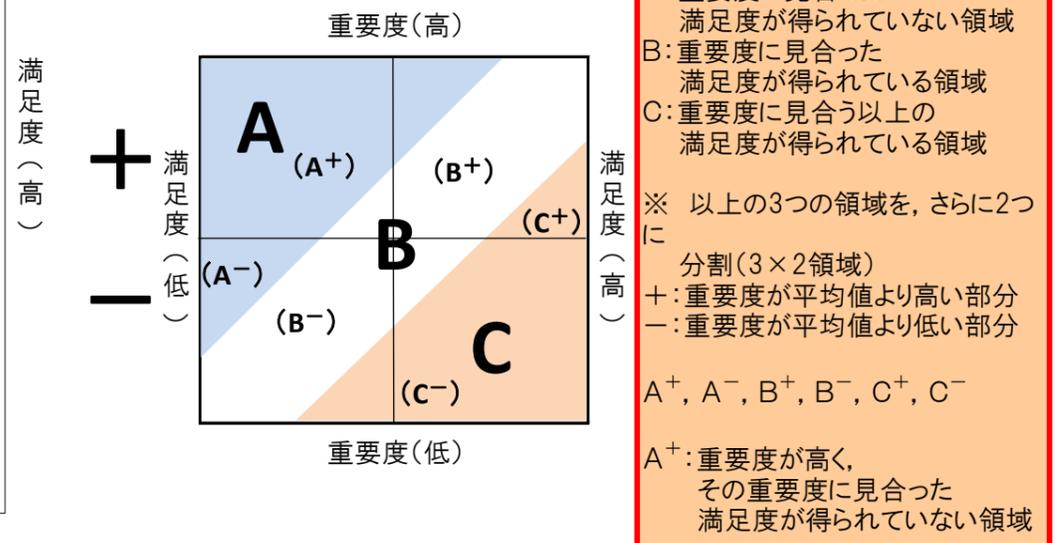
市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B ⁻	33.39	34.23

●重要度に見合った満足度が得られている(B)
●重要度が平均値より低い(-)

【グラフの見方】



施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(I)/令和元年度の主な実績(II)/今後の方向性(III)	R1年度決算額(千円)
重公創	高梁川流域「デニム・ジーンズ産地連携」創業者支援事業(再掲)	(I) 高梁川流域圏内でのジーンズ関連の創業希望者等を対象に、縫製技術・製造知識の習得や産地への理解を図り、早期の創業・就労につなげることを目的に実施した。 (II) 生地のカットや、工業用ミシンを使った縫製技術を学ぶ縫製講座と、井原のデニム生地の製造技術、倉敷・児島のジーンズ縫製や洗い加工技術を学ぶ工場見学を実施。倉敷会場5人、井原会場5人の計10人の参加者がジーンズ製造にかかる知識や技術を習得した。 (III) 継続して実施する。	1,411
重公創	高梁川流域創業サポートセンター広域連携事業(再掲)	(I) 高梁川流域圏域の創業者支援を行うことを目的に実施した。 (II) 高梁川流域圏域の創業者を対象としたインキュベーション施設「くらしきベンチャーオフィス」を運営し、商工団体、金融機関等と連携して創業相談の実施、起業塾の開催、創業者展示会の開催を行う「くらしき創業サポートセンター」を運営した。 ・くらしきベンチャーオフィス入居者 4人(令和元年度末現在) ・起業塾年3期開催 各期約30人受講 ・創業者展示会参加者数 19事業者 (III) 継続して実施する。	8,315
重公創	創業者支援融資事業(再掲)	(I) 低金利、保証料補給付き融資を行うことで、市内新規創業者の自立企業としての成長を促進し、活発な事業活動を支援することを目的に実施した。 (II) 26件、77,300千円の融資を行った。 (III) 継続して実施する。	1,657 ※中小企業融資事業の内数

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
重 公 創	EV化対応等新技術・新製品開発促進事業(再掲)	(Ⅰ) 中小企業のEV化対応等次世代自動車関連分野への進出や、新産業に関しての中小企業が取り組む新技術・新製品の研究開発等および新事業創出・技術開発等の調査研究を行うため、研究機関または中小企業が連携して活動する研究会等を支援する。 (Ⅱ) 新事業創出連携交流事業補助金1件、新技術・新製品開発促進事業補助金3件 (Ⅲ) 継続して実施する。	6,641
重 公 創	がんばる中小企業応援事業(再掲)	(Ⅰ) 市内中小企業者等の新たな事業展開等を応援することで、地域経済を支える中小企業者等の競争力を高め、地域産業の振興に寄与することを目的として実施した。 (Ⅱ) 研究開発6件、商品開発4件、産業財産権取得9件、販路開拓54件、共同出展型販路開拓1件、人材育成49件、事業承継1件、女性起業家ネットワーク2件、BCP策定支援2件、人材確保支援3件の計131件の補助を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	26,141
	児島デザイナーズインキュベーション運営事業	(Ⅰ) 地場産業である繊維産業やデザイナーに特化した起業家の育成を目的に実施した。 (Ⅱ) 年度末時点で全7室中7室が入居しており、デザイナー、自社ブランドを持つ繊維関連製造事業者など多種多様な起業家が入居する施設となっている。 (Ⅲ) 継続して実施する。	— 「2-④児島産業振興センター運営事業」の内数
公 創	高梁川流域地域おこし協力隊活動推進事業	(Ⅰ) 外部人材による高梁川流域圏域の地域資源を活用した地域活性化を目的に実施した。 (Ⅱ) 都市圏から3人受け入れ、地域おこし協力隊として委嘱し、高梁川流域の地域資源を活用した備中玉島みなと朝市を開催するなど、高梁川流域連携事業を推進した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	11,312
公 創	高梁川流域ICT利活用推進事業	(Ⅰ) オープンデータやビッグデータが地域の経営や事業に活用されるとともに、データ活用に対応できる地域人材(テレワーカーを含む)・プラットフォームを圏域の事業者が利用でき、かつ、そのリソースが圏域への新たな人材や事業者の誘引力ともなるような、高度データ利活用圏域の形成とデータ利活用によるビジネス創出を目的とする。 (Ⅱ) オープンデータの更新・追加及び地域特性分析コンテンツ(都市モニタリング等)の追加。データサイエンス系テレワーカー育成用オンライン講座の運営。イベント・セミナー等の開催(データサイエンスセミナー、ITビジネス推進ワークショップ、統計検定勉強会。イベント参加者数:延べ64人) (Ⅲ) 令和元年度で完了した。オープンデータの取組のみ、構想実現計画2020 [5-④]データで紡ぐ高梁川流域連携事業にて継続する。	27,117